

2020年4月1日

2020年度予算について

青山学院財務部

青山学院の2020年度（以下、当年度）資金収支予算及び事業活動収支予算は、予算会議の議を経て、収益事業部予算とともに、本年3月26日開催の評議員会、引き続き開催の理事会で承認されました。

当年度の予算編成に先だち、2019年7月1日に理事長名で「2020年度予算編成方針」を各設置学校及び法人各部署に発信しました。具体的には、「①学生生徒等納付金の安定的な確保、②万代基金の増強、③各設置学校独自の教育研究を目的とした中長期的視点からの先行投資、④グローバル化の推進と学校間競争力の確保、⑤『AOYAMA VISION』の推進」などを収入予算、支出予算の編成方針とし、これらにより、教育・研究の質的向上と財政基盤の維持を図ることを基本方針としています。

当年度予算の収入面では、学生生徒等納付金について、女子短期大学の2019年度新入生募集停止に伴う学生数減少による減収があるものの、大学の新入生学費改定効果やコミュニティ人間科学部の学年進行、高等部、中等部、初等部、幼稚園における学費改定などの増額要素により増収を見込んでいます。寄付金については、寄贈基金（エンダウメント）としての万代基金の強化に引き続き取り組んでまいります。

一方支出面では、「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策、2021年度初頭から使用を開始する教育研究システムの更新費用等を予算に計上いたしました。また各設置学校、法人各部署は、真に必要な予算と見直すべき予算の選別を行い、新たな施策のための予算を織り込んでおります。

当年度実施予定の主な支出項目としては、

- ① 大学新図書館（仮称）建築計画費用（設計、既存校舎改修等）
- ② 幼稚園新園舎基本構想策定費用
- ③ 教育研究システム更新費用
- ④ 「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策のための費用
- ⑤ 非構造部材の耐震化費用（大規模天井改修、校舎外壁改修）

等を計上しております。

以上